

授業科目の区分	専門分野《精神看護学》			
授業科目	精神看護実践演習（精神に障害をもつ人の看護展開）			
開講年次・学期	2年次・後期			
単位（時間）	1（15）			
担当講師	《専任教員》看護師としての実務経験あり			
科目のねらい	精神看護の展開プロセスを理解し、主な状況における精神看護の実際について理解する。			
到達目標	<p>1) 対象の生きづらさ・生きにくさを推測し、対象が病気とうまく付き合いながら生活していくための看護について考えることができる。</p> <p>2) 精神に障害のある対象と関わるうえで必要になる思考過程を、体験を通して学ぶことができる。</p> <p>3) 対象理解を進める中で、対象に向き合う自分自身についての理解（自己理解）をすすめることができる。</p> <p>4) 看護展開をするにあたり必要になる学習課題を自身で見出し、学習したことを看護実践（演習）に活用することができる。</p> <p>5) 体験を通して学ぶ中で、行動しつつ考える力・学び続ける力を高めることができる。</p>			
授業計画	回	内容と方法	事前学習	事後学習
	1（2h）	演習 「体験学習」「イメージマップ」 講義 「授業ガイダンス」「事例紹介」	・精神看護学（概論、臨床看護Ⅰ・Ⅱ）で学習した内容について復習する。 ・病態関連図	・体験学習後レポート 提出有 ・事例の患者とかかわる上で必要になる学習 ・病態関連図を書き進める
	2（2h） 3（2h）	演習 「事例患者さんに対する看護実践」 「ショートカンファレンス」	・事例患者に関わるための援助計画の立案 提出有	・事例患者との関わりの実施・結果・評価 ・自身が看護実践をした際はプロセスレコードを活用する 提出有 ・事例の患者とかかわる上で必要になる学習をすすめる ・関連図を広げていく
	4（2h）	演習 「事例患者さんに対する看護実践」 「ロングカンファレンス（1回目）」	・事例患者に関わるための援助計画の立案 ・1回目カンファレンス資料作成 提出有	・事例患者との関わりの実施・結果・評価 ・自身が看護実践をした際はプロセスレコードを活用する レポート提出有 ・関連図・看護問題リスト・総合目標の追加・修正
	5（2h）	演習 「事例患者さんに対する看護実践」 「ロングカンファレンス（2回目）」	・事例患者に関わるための援助計画の立案 ・2回目カンファレンス資料作成 提出有	・事例患者との関わりの実施・結果・評価 ・自身が看護実践をした際はプロセスレコードを活用する レポート提出有 ・明確化・看護計画の追加・修正
	6（2h）	演習 「事例患者さんに対する看護実践」 「ショーカンファレンス」	・事例患者に関わるための援助計画の立案 提出有	・事例患者との関わりの実施・結果・評価 ・自身が看護実践をした際はプロセスレコードを活用する レポート提出有 ・関連図、看護問題、総合目標、明確化、看護計画の追加修正

